

事務事業名		市立病院介護老人保健施設運営事業			会計	老健施設				
課等名		市立病院介護老人保健施設等名 管理係			事業種別	政策	開始	終了		
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり							
	施策	35	高齢者福祉の推進							
目的	対象(誰・何を)	入所・短期入所・通所等の利用者				対象指標	指標名及び単位		24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	介護を必要とする高齢者に安全安心なケアを提供する					入所定員:ベッド数		95	
	向上させたい上位施策の成果指標	安心して暮らせている高齢者(65歳以上)の割合					通所定員:人数		25	
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	施設入所利用率:% 入所利用者数/入所定員			95	91.7	95	95		
	成果指標	通所1日あたり利用者数:人			25	25.2	25	30		
	定性目標									
事業概要	市立病院介護老人保健施設は、在宅生活への復帰を目指し、機能訓練により、入所者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことを目指している。入所希望者は、申込により施設内入所判定会において協議決定し、利用することができる。入所定員は、平成22年10月より50床から60床に、平成24年2月より60床から70床に、平成24年10月より70床から100床に増床し、運営している。また、居宅支援事業として、通所リハビリテーション事業を実施。施設整備後の利用者拡大に伴い、22年6月から定員を20人から25人、24年4月より25人から40人として、居宅で生活している高齢者の支援をしている。									
事業内容					名称			活動指標		
24年度事業内容	1・入所定員を24年10月より70床から100床とし、目標入所利用者数のできる限り95%にする。 ・施設整備完了に伴い、通所定員を40人とし、利用者の拡大により1日当りの利用者数を確保する。 ・在宅介護支援事業、ケアマネージャー2人体制で実施。				入所・短期入所			定員70床 24年度中に100床 定員40人		
	2 実績 ・入所利用者(短期入所含) 28,202人、利用率91.7% (23年度比+6,334人、-3.9%) ・通所利用者 6,375人、1日当り利用者数25.2人(23年度比+680人、+1.8人) ・在宅介護支援事業 年851件利用(23年度比+45件)				通所リハビリテーション 在宅介護支援センター			70人/ケアマネ2人		
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		501,927	648,600	602,436	702,300	(老健運営事業については、事業費に人件費を含んでいます。)				
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他		370,053	477,600	451,393	545,500					
一般財源		131,874	171,000	151,043	156,800					
人件費計(千円)②		0		0						
正規職員所要時間										
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		501,927	648,600	602,436	702,300					
事業内容・目標達成状況の振り返り	24年度は、医師、看・介護等の職員体制を整備し、24年10月から入所定員を30床増員し、入所定員100床による運営を開始することができた。しかし、1月から2月にかけて感染性胃腸炎等の感染症拡大による入退所制限が大きく影響したため、利用率が低下した。通所リハは、利用対象地域や利用回数の拡大と、祝日営業の開始により、利用率がアップした。									
改革改善の考え方	①問題点	入所定員100床運営における健全経営のために、通年での入所ベッド利用率95%以上、通所1日あたりの利用者数25人以上確保の方策と、100床に向けた人員増に伴って、特に突出して増大した人件費を含む歳出経費の削減								
	②改革提案	入所は、入所者確保に向け医療機関や他事業所との連携を強化する。通所は、送迎範囲を拡大して利用者ニーズに応える。人件費は、正規と臨時職員の比率見直し等中長期的視野に立った配置計画を策定し、段階的な削減を図る。								